終わらない勇者の冒険

キャスト

クラウド（クラ）…男（１６）。本作の主人公で勇者（見習い）。垢抜けない苦労人。
キャシー（キャ）…女（１８）。気の強い姉御肌（？）な術師。ドジ。
アントゥ（アン）…男（１５）。弓使い。常時笑顔でいそうなのんびり屋。
ミランダ（ミラ）…女（１６）。欲の塊女盗賊。さばさば系ミーハー。

魔王　　…魔王。勇者が来るの待ってる。暇人。

？？　　…？？？？？

キャ「ちょっとクラウドー？　いつまで寝てんのよ！　早く起きなさい！！」
クラ「うー…ん」
キャ「おっきろーーーーい！！」
クラ「うぎゃっ！いたた…。起きる。起きてるから、そんなに叩かなくても…。
　それより、最近変な夢見るんだ。なんか嫌な予感って言うか…」
キャ「なに寝ぼけてんのよ。さっさと支度してよね！　朝食、用意してあるから。
　アンが先に食べてるはずよ。まったく、勇者が朝に弱いなんて…ブツブツ」
クラ「う、うん。わかった。やっぱりただの夢、なのか…」

クラ「おはよう、アントゥ」
アン「おはよう、クラウド。今日もキャシーのコゲパンだよ」
クラ「あ、あはは…また、か」
ミラ「おっはよー！　って、このにおい…まさかまたコゲパン？！　もう3日連続だよ？
　おいしいものが食べたいよぅ…」
キャ「文句言うなら食べなくてもいいよー」
ミラ「うわっ、いたの？！　ぅー…朝食抜きはヤダぁ！」
アン「ミランダ、諦めるしかないよ（笑）。僕はもう諦めたから」
クラ「俺も諦めようかな…」
キャ「諦めるって何よ…。じゃなくて、そんなのんびりしてる暇なんてないのよ？！」
ミラ「朝食くらいのんびり食べたっていーじゃん」
キャ「元々あんたは部外者でしょーが」
アン「あっははは」
キャ「アンはのんきすぎ！　もっと緊張感持ちなさいよ！」
クラ「緊張感、なぁ…」
キャ「私たちが旅してる理由、忘れた訳じゃないでしょ？」
クラ「忘れるわけ、ないよ」
アン「忘れたくても、忘れられないよ。なんなこと…」
ミラ「んー、あたしその経緯とか目的とか聞いてないんだけど、聞いても平気？」
クラ「逆になんで、ミランダは僕らについてくるの？　金目の物なんて無いのに」
ミラ「えー…おもしろそうだから？」
アン「ミランダらしいね」
キャ「私たちはそんな楽しそうな理由じゃないの！」
クラ「所謂“魔王退治”ってやつだよ」
ミラ「魔王、退治？」
キャ「そ、魔王退治！　私たちの村を破壊したあの魔王を倒しに行くの。そのための旅なの」
ミラ「ふーん」

アン「うわー…聞いておきながら、もう興味なさげな態度だよ」
クラ「だから、コレは危険な旅なんだ。安易な気持ちでならついてこない方がいい」
ミラ「そこんとこは大丈夫。なんてったって、天下の女盗賊ミランダさんなんだよ？
　旅にも盗賊にも危険はつきもの。慣れっこだからから平気だよ～」
アン「危険の意味が違うような…」
ミラ「とにかく、自分の実は自分で守れるから大丈夫！」
キャ「だったら、逆に協力してもらおうかしら？　魔王退治」
ミラ「お任せあれー！」
クラ＆アン「（いいんだ…）」
キャ「そうと決まれば行動あるのみ！　朝食食べて、さっさと行くわよ！」
ミラ「おーぅ！」
クラ＆アン「お、おー…」

キャ「さて、腹ごしらえもしたし出発するわよ！」
ミラ「きゃー、姐さんついて行きますー！」
クラ「２人とも、こんなキャラだったっけ…」
アン「楽しそうだし、いいんじゃない？」
クラ「ははは…。はぁ…」
アン「そういや朝から浮かない顔してたけど、なんかあった？」
クラ「いや、ちょっと…。最近変な夢を見るようになってから、妙な疲労感があって」
アン「夢？」
クラ「あぁ、既視感のある夢というか…。そう、その夢でも魔王退治に行ってるんだ」
アン「予知夢か何か？」
クラ「さぁ…。キャシーにも言ったんだけど、華麗にスルーされたよ…」
アン「あっははは…。ま、気にしても始まらないし、今は旅に集中しよう」
クラ「そ、そうだな。（そういえば、この道も通ったような…）」
アン「ちょっ、二人とも何してんの？！」
クラ「え？」
ミラ「いやー、なかなか美味しそうなキノコが生えててさー」
キャ「食糧確保は旅の基本よ！　ほら、ぼさっとしてないで手伝いなさい！」
クラ「ココでまさかのキノコ狩り？！」
アン「息抜きとしてはいいんじゃない、かな？」
クラ「はぁ…いつになったら魔王の城に着くのやら…」
魔王「（来ねえな…勇者一行…。これじゃ、俺、まるでニートじゃん…。）」

アン「いやー、いっぱい採れたねぇ」
ミラ「コレで当分はキノコ料理だね！」
キャ「今夜からキノコ祭りよ！」
クラ「キノコ…あんま好きじゃない…。
　しかしどっかで見たことあるようなキノコだな…。うーん…。」

魔王「(新しい就職先でも考えようかな…)」

クラ　それから数日、キノコ料理と共に旅をしてとうとう魔王の城へとたどり着いた。

クラ「や、やっとついた…」
アン「長かったねぇ」
キャ「ここからは慎重に行くわよ…」
ミラ「(息吸い)ったのもーーーう！！」
ミラ以外「いきなり？！」
クラ「ばっ、アレ、誰もいないの？」
アン「怖いモノ知らずか」
キャ「出てきたらどうするのよ！まだ心の準備が…。うっ…！」
クラ「キャシー？！どうしたんだ？！」
キャ「お…おなかの調子が…」
ミラ「まさかこんな時にお腹下したとか？！うぐっ…？！」
アン「ミランダま…ぐふっ…」
クラ「み、みんなどうしちゃったんだよ？！」
魔王「ふはははは！よく来たな勇者よ！って、え？」
クラ「今お前にかまっている暇は…ぅぼぁ…？！」
魔王「ちょっ！まだ何もしてないのに自滅？！」
キャ「い…いったいどうして…？」
ミラ「あ！ま、まさかあたしたちが採ったキノコって…」
アン「そんなまさか…？」
クラ「う、うそだろ…」
魔王「貴様らまさか…森に生えてるキノコ食ったな？残念だったなぁ！
　あれはこの私がばらまいた毒キノコなのだー！…まさかものの見事に引っかかるとは…」
クラ「この…クソ魔王…」

――Game Over――

？？「だあああああああああ！　もうなんなんだよこのゲーム！　キノコで死ぬの何回目だよ！
どこでフラグ回避しろってんだよ！　このクソゲーめ！！
ふっ。まぁいい。この俺がプレイするんだから絶対にキノコ回避してやる…。
キノコ回避して、魔王をブッ飛ばしてやる！！　待ってろよ魔王――！！
っと、その前に…休憩がてらに菓子でも食うかなー。
（クソゲーとかアドリブで愚痴こぼしながらFO）」

ゲーム開始音っぽいSE

アン「クラウド？　元気ないけどなにかあった？」
クラ「いや…なんかさ、最近変な夢見るんだよ。既視感を覚えるというか…。
そう、夢の中でも魔王退治の旅をしてるんだ。」

End?